

# 令和4年度（2022年度）新規研究課題

課題番号：R4-01

課題名：ナシ改良むかで整枝に適した簡易雨よけと耐病性品種を  
組み合わせた栽培方法の開発

研究期間：令和4年度～令和8年度（2022年度～2026年度）

研究担当：農業技術部 園芸作物研究室

## 1 研究の背景

近年ナシの主要病害である「黒星病」は薬剤耐性の高まりや天候不順により、幸水において「黒星病」の多発により出荷量が大幅に減少する産地も見られる。また、カメムシの発生についても年々増加しており、防除のみでの対応が困難なため、他の耕種的防除対策が必要とされている。さらに、県内梨産地の主要品種である「幸水」の多くは老木となっており、改植も視野に入れた栽培技術体系を構築していく必要がある。

## 2 目的

本県が開発したナシ改良むかで整枝<sup>1)</sup>と簡易雨よけ、多目的防災ネットを併用した新たな栽培方法の開発と耐病性新品種の導入により、防除回数の5割の削減を目指す。

## 3 研究内容

改良むかで整枝等を活用した簡易雨よけによる病害抑制対策と、多目的防災ネットの併用による虫害軽減対策、病害抵抗性品種の導入を組み合わせ、防除回数を削減するための技術を開発する。

## 4 研究のポイント

改良むかで整枝等の直線的樹形を活用することで、簡易に雨よけすることが可能となり、これに多目的防災ネットと、耐病性品種を組み合わせることで、化学農薬の散布回数を削減する。

脚注 1) ナシ改良むかで整枝とは、簡略化した枝の配置により、せん定作業の単純化や収穫作業等を効率化した樹形

# ナシ改良むかで整枝に適した簡易雨よけと耐病性品種を組み合わせた栽培方法の開発

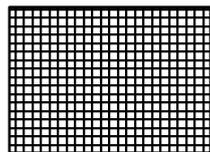
## ナシ改良むかで整枝



## 改良むかで整枝に適した減農薬栽培方法



簡易雨よけ



多目的防災ネット



耐病性品種



## 防除回数の5割削減

持続可能な農業の進展、県民への安心安全な農産物の供給